

気候変動問題の最前線

～動き出した世界とこれからの日本～

我が国において、気温や水温の上昇、降水日数の減少などに伴い、農作物の収量の変化や品質の低下、漁獲量の変化、動植物の分布域の変化やサンゴの白化、さくらの開花の早期化などの気候変動による影響がすでに現れています。

今後どのような温暖化対策を取ったとしても将来の平均気温は上昇し、21世紀末に向けて気候変動の影響のリスクは高まると予測されており、温暖化が進むにつれて、自然災害、農業、自然生態系、健康など様々な面で深刻な影響が生じる恐れがあります。

そのような中、2015年11月には政府として初の「気候変動の影響への適応計画」が閣議決定され、同年12月には気候変動枠組条約の第21回締約国会議(COP21)において2020年以降の国際枠組みであるパリ協定が採択されるなど、近年、気候変動問題を巡る国内外の情勢が大きく動き出しています。

本シンポジウムでは、気候変動問題に関する最新の動向を紹介すると共に、国内における気候変動対策の普及、そして国際貢献の推進のため、科学者、政策決定者、メディアなどの関係者がどのような取り組みを進めるべきかについて議論します。

日時: **2016年3月9日(水)** 13:30~16:50 (開場 13:00)

場所: **千代田放送会館2F ホール** 住所: 東京都千代田区紀尾井町1-1
(アクセス: 永田町駅から徒歩3分 / 麴町駅から徒歩5分 / 赤坂見附駅から徒歩9分 / 四ツ谷駅から徒歩12分)

定員: **200名** (事前申込み制) 参加費: **無料** 主催: 環境省

第1部 基調講演

- 「気候変動問題の最新の動向について」(仮題) / 藤井進太郎 (環境省 地球環境局研究調査室 室長補佐)
- 「IPCC第6次評価報告書に向けて」(仮題) / ハンス=オットー・ポートナー (アルフレッド・ウェグナー研究所 教授 / IPCC 第2作業部会 (WG2) 共同議長)
- 「気候変動リスクの総合管理とその対策について」(仮題) / 沖大幹 (東京大学 生産技術研究所 教授 / IPCC 第5次評価報告書 (AR5) WG2 統括執筆責任者)

第2部 パネルディスカッション

- 「気候変動問題への国内の取組と国際貢献の促進に向けて」(仮題)

コーディネーター 沖大幹 (東京大学 生産技術研究所 教授 / IPCC AR5 WG2 統括執筆責任者)

パネリスト 田辺清人 (地球環境戦略研究機関 上席研究員 / IPCC インベントリータスクフォース (TFI) 共同議長)
 ハンス=オットー・ポートナー (アルフレッド・ウェグナー研究所 教授 / IPCC WG2 共同議長)
 井田寛子 (NHKニュースウオッチ9 気象キャスター / 気象予報士)
 神奈川県立横浜国際高等学校 (スーパーグローバルハイスクール (SGH) 指定校) 代表生徒
 藤井進太郎 (環境省 地球環境局研究調査室 室長補佐)



井田寛子

講演者プロフィール

沖大幹 (おき・たいかん)



東京大学生産技術研究所 教授。専門は水文学で、地球規模の水循環と世界の水資源に関する研究。IPCC AR5統括執筆責任者を務める。書籍に『水の未来』(岩波新書、2016年3月)、『水危機 ほんとうの話』(新潮選書、2012年)など。生態学琵琶湖賞、日経地球環境技術賞、日本学士院学術奨励賞など表彰多数。水文学部門で日本人初のアメリカ地球物理学連合(AGU)フェロー(2014年)。

ハンス=オットー・ポーター



動物生理学で博士号を取得後、カナダやアメリカでの研究活動を経て、現在はドイツのアルフレッド・ウェグナー研究所総合生態生理学セクション長およびプレーメン大学教授を務める。温暖化、海洋酸性化、および低酸素化の海洋生物や生態系への影響等が主な研究テーマ。IPCC AR5 WG2統括執筆責任者で、現IPCC WG2共同議長。

井田寛子 (いだ・ひろこ)



NHK気象キャスター。筑波大学非常勤講師。製薬会社勤務の後、NHKキャスターに転身。静岡放送局、首都圏センターに勤める間、気象予報士の資格を取得。現在はNHKニュースウオッチ9担当。地球温暖化の対策を呼び掛けるため、出前授業や講演活動、2014年にはニューヨークで開かれた国連気候サミットに参加。著書に『気象キャスターになりたい人へ伝えたいこと(成山堂書店)』がある。

田辺清人 (たなべ・きよと)



IPCC TFI共同議長。東京大学理学系大学院にて気象学を専攻し、1993年に理学修士号を取得。2013年4月～2015年10月までTFI技術支援ユニット(TSU)部長。2006年IPCCインベントリーガイドラインの作成、国連気候変動枠組条約の非附属書1締約国の国別報告書に関する専門家諮問グループの活動などに従事。2015年10月にIPCC第42回総会でIPCC TFIの共同議長に選出され、現在に至る。

神奈川県立横浜国際高等学校 (SGH指定校)

「気づき、考え、行動するグローバル・リーダー育成の戦略的プログラム」をもとに、三つのサブテーマを設定し、「日本の強みを海外へ売り込む方法」を研究課題として活動している。サブテーマは「グローバルビジネスの新しい戦略構想」「新しい国際平和貢献への道」「世界の環境問題の解決に向けての提言」。

「気候変動問題の最前線」(in東京) 参加申込方法

申込・問合せ先

地球・人間環境フォーラム

TEL:03-5825-9735 / FAX:03-5825-9737 / Eメール:climate@gef.or.jp

申込締切

2016年3月7日(月) 必着

WEB申込フォームまたは、電話/FAX/電子メールにて受付

シンポジウムへのご参加には申込フォーム(推奨)から、またはE-mailか電話、FAXでの事前申込みが必要になります。

電話、FAX、E-メールでの参加申込

件名に「3/9東京シンポ参加申込」と明記の上、

- ①氏名(ふりがな)
 - ②E-mailアドレスまたはFAX番号
 - ③電話番号
 - ④ご職業(必須ではありません)
 - ⑤年代(10代/20代/30代/40代/50代/60代/70代/80才以上)
- をご記載の上、下記までお申込み下さい。

TEL:03-5825-9735

FAX:03-5825-9737

Eメール:climate@gef.or.jp

- 定員に達した場合のみ、ご連絡します。
- FAX申し込みの場合、FAXされた用紙をご持参下さい。
- Eメール送信の際は、開封確認通知をご利用下さい。
- 申込フォームの場合、自動返信メールをスマホ等でご持参下さい。
- ご記入いただきました個人情報は、今後、同種のご案内に限って活用させていただきます。

WEB申込フォームでの参加申込

「地球・人間環境フォーラム」
www.gef.or.jpの
お知らせ&イベントページ
よりお申込み下さい。

